



Laurus の翼

令和7年1月30日(木)
【第21号】
文責 校長 高宮 裕

福島で学び、福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育

福島県では第7次福島県総合教育計画を発行しています。この計画は、これからの福島県の教育の方向性を示すものです。その中には、福島の良さを大切に「福島ならではの」教育を進めるとともに、それを実現するため、これまでの一方通行の画一的な授業から個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革していく「学びの変革」が掲げられています。今回は、3学期に実践した「福島ならではの、福島の学び」の実践につながる取り組みをご紹介します。

スーパーサイエンススクール

この事業は、福島県教育委員会が算数・数学、理科の指導力向上と算数・数学や理科を好きになる児童の育成を目的とした事業です。講座では、福島県立テクノアカデミー浜とバスファインダーから講師の先生方が来校しました。スカイパークから Zoom で中継をして飛行機を見たり、夢のお便りを投函したりしました。そして、宇宙食を食べながら、ロケット発射の生中継を見学！めったにない貴重な体験でした。



もの作り出前講座



この事業は、若い人たちがものづくりに興味を持つよう支援していくことが目的の事業です。5年生が和菓子作りに挑戦しました。講師は中田町にある「かど屋」の神山さん。神山さんは「ものづくりマイスター」に認定された職人さんです。児童は「梅」と「うぐいす」に挑戦。上手にあんこを包んで、飾りも付けて完成！食べてみるとすごくおいしい。休みの日に、かど屋さんにお菓子を買に行く児童もいました。

ハンガリー出前

この事業は、郡山市の事業で、グローバルな視点を養い、他国の文化を理解し、相互交流ができる人材を育てる事業です。6年生がハンガリーから福島大学に留学しているアニタさんとの交流をしました。アニタさんからハンガリーの文化や食生活について紹介していただきました。アニタさんは日本の生活がとても安全に保たれていることにとても驚いていました。

